

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	丸亀市家庭教育支援チーム (呼称:きっずコム) URL: http://sanukids.org
②活動拠点	丸亀市
③活動範囲	丸亀市及び近隣地域
④組織体制	役員 <u>7</u> 人 スタッフ <u>52</u> 人(うち元教員4名、保育士・幼稚園教諭資格14名、 元塾講師1名、子育て支援員7名、 放課後児童支援員1名、その他25名)
⑤活動開始年度	<u>1983</u> 年度 <u>法人設立 2005年</u> <u>認定 NPO 法人 認定2020年</u>
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 事務局:三井・塚本・高橋 (TEL)02877-25-0691 (E-mail) kgkagawa@io.ocn.ne.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施
③活動内容	【具体的な活動内容】 ●子ども体験事業「ワークショップ」:五感をフルに使う体験の場で、遊びの中から身体で感じ取り「生きる力」を育む活動

	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども体験事業「舞台芸術鑑賞」: 様々なジャンルのプロによる優れた舞台芸術を企画実施し、鑑賞する。文化芸術体験が心を豊かにし、人間の可能性を創造する。子どももおとなも一緒に体験し感動を親子で共有し、コミュニケーションを深める。 ●子ども体験事業「きっずコムバンド」: 音楽に親しみ、楽器演奏を行う。演奏のレッスンやイベント出演や高齢者施設への演奏活動を行う。 ●地域子育て支援拠点事業「コムコムひろば・どき」「コムコムひろば・あやうた」: 乳幼児親子が自由に集える子育てひろばを市内 2 カ所で常設開設し、子育て親子の支援活動の実施。 ●放課後子供教室「どっきん☆くらぶ」: 小学生を対象に「学び・遊び・体験・ふれあい」ができる「子どもの居場所」として開室。 ●きっずスクール事業「子どもアトリエ」: アートを主体に子ども一人ひとりの個性を大切に豊かな感性と表現力を育む。 ●(幼児親子)②テラ☆ティーンズ(中高生)③DE♡あい(青年)④とっとコム(父親)⑤エンジョイ・コムライフ(シルバー)⑥親子ネット(あらゆる年代の親子) ●みんなの居場所事業: コムカフェランチ・チャレンジサロン(シルバー)・コミュニティサロン(どなたでも)・ハートフルサロン(障がいのある方)・まちライブラリー ●子育て支援コーディネート事業「トゥインクル」: 子育ての困ったこと、聞いてみたいことなどの相談窓口 ●出張事業: イベント時の子どもの一時預かり、造形教室講師請負、舞台公演のマネージメント。 ●広報事業: 様々な媒体を活用して、活動の情報提供を行う。 ●中高生の未来応援プロジェクト: 中学校に出向き、中学生に対し、「命の講座」と「あかちゃんふれあい教室」を実施。おとな対象に思春期を考える子育て講座の実施。 ●さぬきっずまなび家プロジェクト: ひとり親家庭や生活困窮の子育て家庭支援。相談窓口、食料品等の配布会、学習支援、子どもの体験活動、シングルママのサロン(with サロン)の実施。
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもを中心にした多岐にわたる活動を行うことで、子どもたちが様々な経験を重ねることができ、創造性や感性が育まれている。 ● 活動の中で、異年齢の子ども同士や関わり、お互いに助け合ったり、教えあったりできる仲間作りができており、その体験活動は、社会の中の多様な人の手で成され、子どものみならず親や関わる地域の大人の交流ができ、共助の関係性が育まれている。 ● 活動の受益者が、やがて支援者として活動を繋いでいき、構築された活動の場は、子育ての学びの場、世代を超えた交流の場、育ちの場でもあり、人々の心の居場所になっている。 ● 講座の実施においては、多くの親の学びの場になっており、継続的な要望を受けている。

<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:放課後子供教室)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:地域子育て支援拠点事業)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (寄付・助成金)</p>
------------------------------------	--